いぶりのあらまし

位　置

● 胆振管内は１１市町（４市、７町）からなり、北海道の中央南部にあって、東西１５２㎞、南北９８㎞の細長い地形で、南側の約２１８㎞は海岸線で太平洋に面しています。

● 隣接する地域は、東側が日高、西側が渡島、北側が後志、石狩、空知、上川の各総合振興局及び振興局となっています。

面　積

● 胆振の総面積は３，６９８㎢ で、本道の総面積の４．４％（北海道総面積８３，４２２㎢・北方領土を含む）に当たります。全道１４総合振興局及び振興局の中で４番目に小さい面積ですが、奈良県（３，６９１㎢ ）とほぼ同じ面積です。

地　勢

● 胆振の東部地域は、単調に続く砂浜沿いの平坦地から石狩平野へと広がる勇払平野をはさんで、西に樽前山、支笏湖、東は波状型丘陵地を経て、日高山脈へと続いています。

● 西部地域は、変化に富んだ海岸沿いの平坦地から内陸部へ向かって丘陵地、山岳と続き、ほぼ中央部に洞爺湖や有珠山があり、東にはホロホロ山、オロフレ山、鷲別岳が南北に並んでいます。

自　然

● 胆振地域には、支笏洞爺国立公園に指定されている優れた景勝地があります。

洞爺湖周辺では、有珠山、昭和新山などが国際的にも重要な火山現象と火山地形を呈しています。

登別温泉周辺は、登別地獄谷、大湯沼、倶多楽湖などから構成され、温泉郷独特のたたずまいを見せています。

また、樽前山周辺では、樽前山と支笏湖が森林と湖の静かな景観を形成しています。

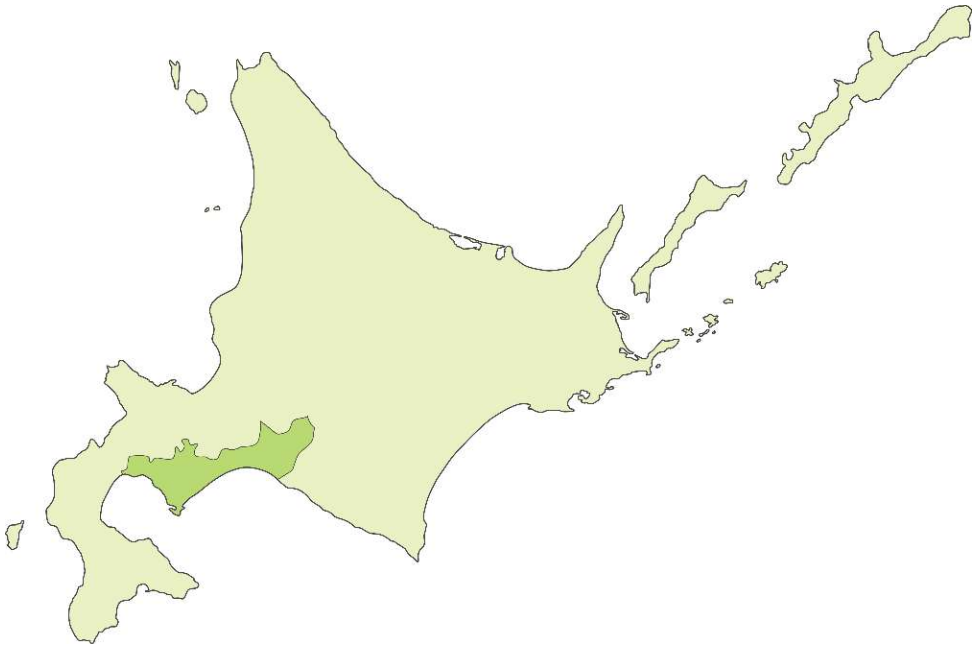
● そのほか、都市近郊の湖沼や海岸線などにも、国設鳥獣保護区やラムサール条約登録湿地に指定されているウトナイ湖をはじめ、美々川流域、地球岬周辺など質の高い自然が広く残されています。

◎総合振興局及び振興局別面積

総合振興局及び振興局	面　　積	構成比
①十勝	10,831.55㎢	13.0%
②オホーツク	10,690.36㎢	12.8%
③上川	10,618.70㎢	12.7%
④根室	8,499.49㎢	10.2%
⑤釧路	5,996.17㎢	7.2%
⑥空知	5,791.59㎢	6.9%
⑦日高	4,811.02㎢	5.8%
⑧宗谷	4,625.68㎢	5.5%
⑨後志	4,305.94㎢	5.2%
⑩渡島	3,937.40㎢	4.7%
⑪胆振	3,698.08㎢	4.4%
⑫石狩	3,540.06㎢	4.2%
⑬留萌	3,445.87㎢	4.1%
⑭檜山	2,630.30㎢	3.2%
全　　道	83,422.22㎢	100.0%

・国土地理院「令和８年全国都道府県市区町村別面積調（４月１日時点）」に基づく胆振総合振興局調べ

・根室振興局には北方領土の面積を含む



いぶりのあらまし

気　候

● 管内の気候は、全般的に臨海性で一部には海霧の発生する地域や冷涼な地域を含みますが、積雪寒冷の厳しい北海道にあっては、比較的温暖で暮らしやすい地域となっています。

● 春の訪れは比較的早く、夏は蒸し暑さがなく、さわやかで安定した気候の長い秋が続きます。冬は大陸からの寒気の影響が小さく、山間部の一部を除き温暖で積雪量が少ないなど、年間を通じて恵まれた気象条件にあります。

◎令和７年月別平均気温

地点名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
室蘭市	▲0.1	0.1	2.9	7.5	12.3	18.2	23.2	23.7	20.6	12.8	6.9	1.6
（平年値）	▲1.8	▲1.6	1.4	6.1	10.7	14.4	18.5	20.6	18.4	12.9	6.4	0.5
苫小牧	▲1.5	▲1.4	1.8	7.2	11.5	17.2	22.4	23.5	19.8	11.3	5.2	▲0.1
（平年値）	▲3.6	▲3.2	0.5	5.3	10.0	14.0	18.2	20.4	17.8	11.5	4.9	▲1.2
札　幌	▲1.2	▲0.9	2.0	8.5	14.9	20.6	25.8	24.7	20.7	11.9	5.4	▲0.1
（平年値）	▲3.2	▲2.7	1.1	7.3	13.0	17.0	21.1	22.3	18.6	12.1	5.2	▲0.9

【令和７年平均（平年値）：室蘭10.8℃（8.9）、苫小牧9.7℃（7.9）、札幌11.0℃（9.2）】

◎令和７年月別降水量

地点名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
室蘭市	43.5	44.0	57.5	113.5	51.0	68.0	84.5	89.0	220.5	58.0	128.0	29.0
（平年値）	53.6	44.3	49.9	70.0	108.3	109.1	159.2	187.3	156.6	101.8	83.2	65.8
苫小牧	22.0	35.5	61.5	128.5	71.5	114.0	28.5	162.5	266.0	122.0	111.5	93.5
（平年値）	38.7	37.5	53.5	75.7	130.8	111.6	163.5	197.5	174.9	113.2	85.7	56.6
札　幌	68.5	118.0	94.5	110.0	45.0	27.5	63.0	118.5	161.0	55.0	164.0	110.5
（平年値）	108.4	91.9	77.6	54.6	55.5	60.4	90.7	126.8	142.2	109.9	113.8	114.5

【令和７年降水量（平年値）：室蘭986.5mm(1,188.9)、苫小牧1217.0mm(1,239.2)、札幌1135.5mm(1,146.1)】

◎令和７年月別日照時間

地点名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
室蘭市	112.9	150.9	179.0	144.3	208.2	222.8	168.9	186.0	215.8	147.2	101.3	53.1
（平年値）	88.3	123.6	183.7	198.9	194.9	155.8	133.2	144.9	166.5	165.2	102.7	71.1
苫小牧	168.7	167.7	167.7	133.6	196.1	199.3	149.0	157.9	182.2	137.0	139.2	112.2
（平年値）	142.0	144.7	165.6	173.5	171.9	119.7	108.1	122.2	153.1	156.0	127.1	127.6
札　幌	122.0	120.0	125.1	134.8	222.3	209.2	212.0	173.8	188.9	133.4	110.0	74.8
（平年値）	90.4	103.5	144.7	175.8	200.4	180.0	168.0	168.1	159.3	145.9	99.1	82.7

【令和７年日照時間（平年値）：室蘭1890.4時間(1,728.1)、苫小牧1910.6時間(1,711.5)、札幌1826.3時間(1,718.0)】

※ 気温・降水量・日照時間ともに気象庁調べ

いぶりのあらまし

▼▲▼▲▼▲

産業構造

【産業概要】

- 管内は、農業、林業、水産業、工業、観光、港湾運輸など、バラエティに富んだ産業活動が展開されています。
- 業種別就業者数でみると、全道と比べて第１次産業のウエイトが低く、第２次産業のウエイトが高くなっています。
- 工業、観光、港湾運輸は、全道で高いシェアを占めており、北海道の振興に大きく寄与しています。

【雇用情勢】

- 管内の有効求人倍率は、全道の水準を上回って推移しています。

◎産業別就業者割合（令和２年国勢調査）

市町名	15歳以上就業者総数（人）	第１次産業	第２次産業	第３次産業
室蘭市	34,733	0.9%	26.4%	71.1%
苫小牧市	76,046	1.9%	25.3%	69.0%
登別市	20,102	1.3%	24.6%	73.4%
伊達市	14,832	9.4%	16.7%	70.8%
豊浦町	1,815	26.4%	11.1%	62.2%
壮瞥町	1,314	25.5%	8.6%	65.4%
白老町	6,558	9.6%	25.4%	62.7%
厚真町	2,405	33.1%	14.0%	52.3%
洞爺湖町	3,972	13.7%	13.0%	69.5%
安平町	3,786	25.1%	17.8%	56.9%
むかわ町	4,146	31.9%	16.8%	50.3%
胆振管内計	169,709	5.0%	23.6%	68.8%

注）分類不能の産業があるため各産業の合計は100%になりません。

◎有効求人倍率の推移

（北海道労働局「安定所別月間有効求人倍率（常用）の推移」より）

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
室蘭	1.13	1.25	1.36	1.51	1.54	1.22	1.23	1.39	1.26	1.31	1.19
苫小牧	1.02	1.00	1.12	1.24	1.29	1.20	1.18	1.27	1.12	1.07	1.01
全道	0.96	1.04	1.11	1.17	1.19	0.96	0.98	1.09	1.00	0.95	0.91
全国	1.11	1.25	1.38	1.46	1.41	1.01	1.05	1.19	1.17	1.14	1.10

◎産業概要

項　目	全道 (a)	胆振(b)	(b)/(a)	出　典
農業産出額（令和６年）	億円 14,816	億円 830	% 5.6	農林水産省「令和６年市町村別農業産出額」による
林業素材生産量（令和６年）	千㎥ 4,948	千㎥ 279	% 5.6	胆振総合振興局調べ
漁業生産額（令和６年）	億円 2,856	億円 103	% 3.6	「北海道水産現勢」による
製造品出荷額等（令和６年）	億円 67,746	億円 20,837	% 30.8	「経済構造実態調査」による
観光入込客（令和６年度）	万人 15,321	万人 1,708	% 11.1	「北海道観光入込客数調査報告書」による
港湾貨物取扱量（令和６年）	万トン 18,416	万トン 11,422	% 62.0%	「北海道港湾統計年報」による
外国貿易額（令和６年）	億円 21,051	億円 15,263	% 72.5	函館税関調べ

◎業種別就業者数（令和２年国勢調査）

産業別		胆振管内	就業者数（人）	比率（%）	全道	就業者数（人）	比率（%）
第１次産業	農業、林業	8,499	7,382	4.35%	156,298	128,971	5.49%
	漁業	(5.0%)	1,117	0.66%	(6.7%)	27,327	1.16%
第２次産業	鉱業、採石業、砂利採取業	40,017	161	0.09%	387,947	1,598	0.07%
	建設業	(23.6%)	17,199	10.13%	(16.5%)	200,263	8.53%
	製造業		22,657	13.35%		186,086	7.93%
第３次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	116,801	1,339	0.79%	1,738,586	13,236	0.56%
	情報通信業	(68.8%)	1,086	0.64%	(74.1%)	45,245	1.93%
	運輸業、郵便業		11,509	6.78%		128,748	5.49%
	卸売業、小売業		24,600	14.50%		371,504	15.83%
	金融業、保険業		2,489	1.47%		43,868	1.87%
	不動産業、物品賃貸業		2,149	1.27%		46,254	1.97%
	学術研究、専門・技術ｻｰﾋﾞｽ		3,372	1.99%		66,052	2.81%
	宿泊業、飲食ｻｰﾋﾞｽ業		10,900	6.42%		139,039	5.92%
	生活関連ｻｰﾋﾞｽ業、娯楽業		6,061	3.57%		82,263	3.50%
	教育、学習支援業		7,248	4.27%		110,816	4.72%
	医療、福祉		25,025	14.75%		352,247	15.01%
	複合ｻｰﾋﾞｽ業		1,761	1.04%		30,484	1.30%
	ｻｰﾋﾞｽ業（他に分類されないもの）		12,286	7.24%		182,325	7.77%
	公務（他に分類されるものを除く）		6,976	4.11%		126,505	5.39%
分類不能の産業			4,392	(2.6%)		64,439	(2.7%)
15歳以上就業者総数			169,709	(100.0%)		2,347,270	(100.0%)